

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年8月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671100180
法人名	医療法人 椎原会
事業所名	高齢者グループホーム有馬館
所在地	鹿児島県南さつま市加世田地頭所570番地 (電話) 0993-53-3667
自己評価作成日	平成26年5月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年7月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の生活の質の向上と職員のレベルの向上を目的に年間目標を立て日々の支援に努めている。

平成26年度目標

- 1、一人ひとりの身体や精神状況、性格、好み等特性を考慮して個別に支援する
 - ①個別のケースで検討して経過を見る。
 - ②その人に合った支援の方法を見つける。
- 2、毎月1回、回想法を行う。

- ・事業所の理念と方針があり、自治会に入り地域との交流、学校行事や地域行事に積極的に関わっている。
- ・職員全員が身体拘束はしないを、業務の中で日々確認している。特に言葉などは馴れ合いにならないよう職員同士で注意しあったり、研修や勉強会などで、意識を高めている。昼間は玄関も解放され、職員の見守りで自由に出入りができるようになっている。
- ・職員同士の人間関係もよく、笑顔での対応が多く見られ、利用者が穏やかな表情で楽しそうに生活している。
- ・介護計画は、本人や家族の思いや希望を反映して、その人らしいプラン作成とチームでの支援体制を行なっている。
- ・災害時に備え、事業所の夜間の消防訓練も定期的に行なわれ、緊急通報システムやスプリンクラー・消火器・災害時の水や食料等の備蓄などもされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は廊下とスタッフルームに掲示し、毎週月曜日の朝、唱和をして全員で共有し実践につながるように努めている。	地域密着型を意識して事業所独自の理念を職員全員で共有し実践している。ミーティングで理念を復唱したり、実践を振り返り、常に理念に立ち返り支援を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の避難訓練、清掃活動、小学校運動会、市民文化祭等ができる範囲で参加して、地域との交流を続いている。	自治会に入り、地域の避難訓練や月1回の清掃活動を行ったり、小学校運動会や市民文化祭・コーラスの見物などに出かけている。高校生の実習受け入れや雑巾の配布など地域交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議に地域の方に参加していただくことや、地元高校生の実習受け入れ等を通じて、認知症への理解や支援方法を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況や活動内容を丁寧に報告するようにしている。様々な意見やアドバイスは、サービス向上につながるように努めている。	会議は定期的に行なわれ、事業所や利用者の状況報告・外部評価結果報告・ヒヤリハット・地区防災訓練報告・相談員との意見交換など、貴重な意見が出され、運営や日々のケアに活かされている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加してもらって、現状や活動内容を伝えると共に質問や相談も積極的に行っている。	市の担当者とは、事業所の運営や利用者へのサービスなどの相談を行い助言や協力を得ながら共に質の向上に取り組んでいる。運営推進会議への参加があり、現場を知ってもらい、情報交換やアドバイス、利用者や職員との交流もある。市主催の研修会等に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	禁止の対象になる具体的な行為はスタッフルームに掲示して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人の合同委員会やミーティング・勉強会時に事例研修を行ったり、会議や勉強会で身体拘束について話し合い、精神的苦痛などについても全員で学び、ケアに活かしている。スタッフルームにマニュアルを掲示し確認し合っている。日中の玄関は施錠せずに、職員の見守りに徹し、拘束のない自由な暮らしを支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	身体拘束廃止委員を選出して毎月病院との合同委員会に出席している。また年に一回は委員が中心となる勉強会を実施して虐待防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	現在のところ成年後見制度の必要なケースは経験していないが、研修に参加して学ぶ機会を持つように努めている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約に関する説明は丁寧に行なうようにしている。特に重要事項、起こり得るリスク、重度化については同意が得られるように十分な説明をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	年1回、家族会を開催し、運営推進会議には交代で参加していただき出された意見や要望を運営に反映するよう努めている。	利用者からは、日常生活の中で話しやすい環境作りに心がけ、意見や要望が言い易いようにしている。家族からは、運営推進会議や家族会などで、家族の意見や要望が出やすいように機会を設けている。利用者や家族等にアンケートを実施し、電話やメール・ホーム便り等で意見や要望収集に努め、利用者・家族等の立場に立ったケアや運営を心がけている。	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	職員アンケートを実施し、その結果をもとに個別の面談を行つて、意見や提案を聞く機会を設けている。	管理者は職員の意見が出やすいように日常生活のケアを通じて気軽に話しかけたり、ストレスや疲労しないようにいつでも相談できるような雰囲気作りをしている。アンケートや個人面談・ミーティング・ケア時を設けて、意見やアイディアを出しやすい雰囲気づくりに努めている。出された意見や要望を運営に反映させている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	個別に年間を目標を立ててもらって向上心を持って働けるように支援している。 資格取得についても可能な限り環境を整えて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	年間目標にそって、力量や希望に応じた研修に参加してもらつてレベルアップを図っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	県や地区のG H協議会の一員として研修や交流会に参加して、サービスの質の向上につなげている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	見学や体験入居をしてもらってご本人の思いを聴き、不安の軽減を図っている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	ご家族の不安や要望については丁寧に聴くように努め、何でも話してもらえる対応を心がけている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	行政の相談窓口、他事業所や施設のサービスの紹介をして、必要としている支援につながるように努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	回想法を取り入れ、昔の生活、習慣、時代背景、思いなどを語ってもらっている。また保存食や漬物作り、郷土料理など経験や知恵を生かせる場を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の介護に対する要望や思いを聞き、ご本人の望む暮らしの実現のために共に検討している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年に2回の墓参り、地域の行事への参加、電話やはがきでの交流の支援をしている	自宅訪問や馴染みの理美容室・行きつけの店・墓参りなどに、家族と一緒に出かけたりしている。家族が行けないとき、本人の希望があれば職員で対応している。これまでの人間関係を把握して継続して交流ができるよう支援している。隣接しているデイケア利用者との対話や茶話会の交流など、関係が継続出来るように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日体操やレクレーション、ゲームや戸外でのお茶会などで利用者同士の交流ができるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、その後の経過に关心を持ち、相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>嗜好調査や生活調査をして、利用者の希望や意向の把握に努めている。</p>	<p>日常生活の中で入浴時や夜間などの話しやすい雰囲気の中で、本人の思いや意向を把握している。表情や楽しく会話できる環境づくりに努め、分かりやすい説明をしながら、思いを選んでもらったり、業務日誌やメモなどで思いや意向の把握に努めている。家族や関係者からの情報も大切にしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居までの生活歴、環境、なじみの暮らし方、嗜好などについて詳しく聞き取っている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>バイタル測定、水分、食事摂取量、排泄チェック等の体調観察を行って健康状態を把握している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<ul style="list-style-type: none"> ○チームでつくる介護計画とモニタリング <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	利用者、ご家族の希望や意向を聞き、主治医、リハビリスタッフ、訪問看護師の意見も加えて担当者会議で検討して介護計画を作成している。	利用者がその人らしく生活できるように、本人や家族の意向を聞き取り、主治医からのアドバイスを受け、介護計画を作成している。業務日誌によるカンファレンスを毎日行い、課題分析をしている。担当者会議で本人・家族・職員で話し合い介護計画の見直しを行っている。状況が変化した場合は、本人や家族の意向、主治医・リハビリスタッフ・看護師・職員等、本人に関わる関係者の意見を反映した介護計画を作成している。	
27		<ul style="list-style-type: none"> ○個別の記録と実践への反映 <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ケアプランに基づき日々の様子を個別に記録して、朝、夕申し送りをして情報を共有している。		
28		<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	週2回訪問看護を受け入れているまた隣接病院のリハビリ治療への送迎も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	大正琴のボランティアの受け入れをしたり、消防署による避難訓練や緊急時対応の指導を受けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診ができるようにしている。専門医を受診する際は主治医の紹介状や採血データの情報提供をしている。	入居時にかかりつけ医を確認して、本人や家族の意向を優先したかかりつけ医の受診を支援している。通院は家族の協力を得ているが、都合がつかない場合は職員で支援している。専門医の受診も行なわれ、往診の継続も支援している。法人医療機関との医療連携体制も整っている。	
31		○看護職員との協働 看護職員は、日々の業務の中からえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の訪問日に症状や経過を伝えて相談をしている。 またそれ以外でも昼夜問わず相談しアドバイスを受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は書面で情報提供している。またその後の経過や見通しなどについては、密に情報交換をするように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期に向けた方針については入院時説明している。終末期を迎えた場合は、本人、家族、医療スタッフと十分に検討して方針を共有している。	重度化や終末期について、ホームとして支援できる方針を作成し、家族等に同意を得ている。母体医療機関と医療連携体制を取りながら、利用者や家族・職員共に安心して過ごせる体制となっている。重度化や終末期に向けて、主治医の指示を受けて家族の協力や理解を求めながら、段階的に説明し方針を職員と共に共有している。研修や勉強会でも知識を高めてチームで支援をしている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	毎年、消防署の指導で応急手当や初期対応の訓練を行っている 急変時の対応マニュアルも作成して掲示している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	隣接病院との合同訓練2回、独自で夜間想定訓練を1回行っている。 また、地域主催の訓練にも参加して、協力体制を築けるように努めている。	災害時に備え、法人全体や事業所独自の災害訓練を行なっている。年2回の避難訓練や夜間想定の訓練、地域主催の訓練にも参加している。避難場所確認・通報装置・緊急連絡網・防災設備や災害時の水や食料等の備蓄も整い、定期的に点検を行っている。地域住民の協力体制も整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>認知症やプライバシー保護についての勉強会を行って、誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応について話し合っている。</p>	<p>利用者の尊厳と権利を大切にプライバシーの確保を徹底している。ケア時やミーティング時に常に課題にして、尊厳に対するケアの在り方を話し合い職員の意識づけとしている。職員同士で注意しあったり馴れ合いにならないように、特に言葉かけには十分気をつけて配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>嗜好調査や生活調査をして本人の思いや希望を聞くようしている。好みのメニュー、外出の衣類など自ら選べる場面を作るよう心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>体調や希望を尊重して、それぞれの過ごし方ができるように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎日の整容、季節に応じた服装ができるように注意を払っている。 また外出時にはおしゃれを楽しめるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事班を中心に、郷土料理や味噌、漬物、お菓子を作つて提供している。野菜の下ごしらえや片付けなどできることを手伝つてもらっている。	利用者の身体状況に合わせた食事形態で、本人の生活リズムに合わせた食事時間で、嗜好に配慮した献立を作つてある。郷土料理やおやつ作りを職員と一緒にしたり、職員も一緒に食事を楽しんでいる。利用者と共に味噌や漬け物を作つたり、利用者の力量に応じて、下ごしらえや準備、後片付けを行つてある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量は記録し必要量の確保に努めている。 年2回カロリー計算をして、その結果をもとにバランスのよい食事作りをしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促し、清潔保持に努めている。磨き残し、舌苔磨きの支援もして口臭予防にも配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間や状況を記録し、排泄パターンの把握に努めている。時間誘導することで自立に向けた支援をしている。	排泄パターンを個別に把握し、排泄の失敗が少なくなるように、表情やしぐさでの察知も行き積極的にトイレ誘導をしている。オムツ無しのケアに取り組み、全利用者が布パンツカリハビリパンツとパット使用である。トイレやポータブルでの排泄に努め、自立に向けた支援を行っている。便秘症の利用者は朝、冷水を提供するなど工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックと水分摂取量のチェックを行っている。野菜やヨーグルトの摂取、運動を取り入れて便秘予防をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調や要望に応じて入浴を楽しめるように支援している。	入浴は基本的に毎日入浴である。希望や必要に応じその都度、対応して入浴が楽しめるようにしている。入浴を拒む利用者がいてもタイミングや工夫をして入浴をしている。足浴や手洗い等の支援をして、利用者の清潔保持に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は離床を促し、昼夜逆転にならないように気をつけている不眠時の対応としては否定したり、説得したりせず、思いを受け止めて安心してもらえるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情はファイルして、効能や副作用についてはピルブックを活用している。与薬する時は、薬袋を声に出して確認し、飲み込むまで見守っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、花の手入れ、ゴミ箱折り、大正琴、習字など得意なことを生かして楽しみごとの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>家族の協力を得て、外出の支援をしている。</p> <p>また、玄関先で外気浴したり、散歩に行ったり希望にそって支援している。</p>	<p>日常的には近隣の散歩をしたり地域でのふれあいを楽しんでいる。その日の希望を聞いたり、買い物・季節に応じ花見・地域の行事の見物・受診など、家族の協力や職員で支援している。</p> <p>墓参り・茶話会・外食・遠足・イベント参加・自宅訪問等、外出の機会作りを工夫して、閉じこもらない支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望に応じて自分の財布を持ち、買い物を楽しむことができるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも電話ができるように支援している。</p> <p>また、年賀状や手紙のやりとりの支援をして大切な人との交流が続くように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先には花を飾り、ソファでくつろげるよう配慮している。館内は、季節を感じることができるように設営を心がけている。	玄関周りに季節の花が植えてあり、共用空間は広く、色彩や光・換気・音・温湿度に配慮されて清潔である。壁には利用者の作品や季節感のある飾り付けがしてある。ソファーや畳部屋もあり、季節行事の写真や花・装飾品が掲示され、家庭的な居心地の良い空間づくりとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先や廊下に椅子を置き、思い思いに過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ってきてもらっている。ご家族の写真や位牌などその人にとって大切なもののと一緒に過ごしてもらえるように支援している。	居室は、位牌やタンス・椅子・自作の工作物・家族の写真・事業所でみんなで作った作品や外出したときの写真なども飾られている。好みの敷物などを活用して安全に過ごせる工夫がされており、その人らしい暮らしができるような部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体状態に応じて家具の配置や敷物を活用して安全に自立した生活が送れるように配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない